

病院長名	度会 正人
所在地	〒446-8602 安城市安城町東広畔 28 番地
交通案内	JR「安城駅」または名鉄「新安城駅」から名鉄バス 「安城更生病院」行き乗車 (JR 安城駅からは市内循環バスもあり)

□ 病院の特徴

西三河南部西医療圏の中核病院として、感染症等の急性疾患から難治性の慢性疾患および新生児医療と、小児医療のすべての分野の診療を行っています。常勤の小児外科医がおり、外科疾患も迅速に対応しています。院内学級を併設して長期入院にも対応しています。総合周産期母子医療センターの指定を受けており、新生児専用救急車も配備して、当院産科や周辺の産科医療機関とも綿密な協力体制で周産期医療を行っています。救命救急センターから、二次・三次救急を含め年間約 1000 人の小児救急患者の入院があります。小児科専門医研修基幹病院の指定に加え、小児神経・小児血液・新生児領域の専門医研修病院の指定もを受けております。

□ 研修プログラムの特徴

安城更生病院小児科専門研修プログラム

【研修目標】

小児医療の水準の向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する。

【研修期間】

3年

(安城更生病院で3年間のコースと安城更生病院2年6か月、名古屋大学6か月のコースがあります)

【研修スケジュール】

小児医療センターと新生児センターを約3か月毎に交互に研修します。それぞれの部署で指導医といっしょに、主治医として診断や治療計画を立案し、御家族への説明の上治療を行います。症例検討会をや他診療科との合同症例検討会も定期的に行っています。外来は、一般小児外来を担当するとともに専門外来も研修できます。小児科当直を含めた救急外来での診療も行います。予防接種や健診などの保健事業にも参加します。学会発表や論文作成、地域の医師会との勉強会など学術的な活動も行います。



▲小児医療センター



▲新生児専用の救急車



□ 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院、
あいち小児保健医療総合センター、
豊田厚生病院、

□ メッセージ

指導医 (小児科代表部長 久保田哲夫)

当院での3年間の小児科専門医研修で、日常診療での一般的な急性疾患から、慢性管理を必要とする特殊疾患、新生児領域の疾患と幅広く研修が可能です。救命救急センターからの入院患者も多く、たくさんの救急疾患を経験するのみでなく、重症患者に対しては麻酔科・救急科の医師とともにICU管理



を学ぶこともできます。地域の中核病院として各診療科が充実しているため、小児外科をはじめいろいろな診療科の小児疾患も経験できます。新生児領域は、総合周産期母子医療センターとして超低出生体重児や重篤な疾患を持つ新生児など症例が豊富で、最新の新生児医療が学べます。薬剤師や臨床心理士や病棟保育士が病棟に常駐し、他職種との連携も良好で小児医療を行っていくためのいろいろな知識を得ることができます。約10名の指導医がいるため、小児科全般の専門研修を受けられるだけでなく、血液・神経・感染症・循環器・アレルギーなど様々な分野でより専門的な指導を受けることもできます。毎年入る後期研修医間での相互指導も活発です。小児科医としての第一歩を私たちと一緒に踏み出しましょう。

□ 募集要項

・採用予定人数	4人
・給与/月額	月額 600,000円 (当直料・超勤含まず)
・当直回数/月	3~4回
・当直料/回	20,000円
・その他	学会・研修会への参加可、助成制度有
・応募連絡先	担当者 教育研修・臨床研究支援センター 電話番号 0566-75-2111 (内線: 3247) Eメール kyoiku-katyo@kosei.anjo.aichi.jp